



2019年10月31日

各位

会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
 代表者 取締役社長 鈴木 篤  
 (コード番号：8242 東証第1部)  
 問い合わせ先 広報室長 井上 純子  
 (TEL 06-6367-3181)

## 2020年3月期 第2四半期業績予想と実績との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想と、本日公表の同実績との差異、及び通期(2019年4月1日～2020年3月31日)業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績との差異 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	458,600	6,050	6,400	3,500	28.32
実績値 (B)	450,710	6,320	6,574	1,463	11.84
増減額 (B-A)	△7,889	270	174	△2,036	—
増減率 (%)	△1.7	4.5	2.7	△58.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期 第2四半期)	444,408	6,100	6,449	139	1.13

#### 2. 業績予想と実績との差異の理由

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における当社グループの売上高につきましては、食品事業が再編に伴う売場面積減少や天候不順の影響を受けたことにより前回発表予想を下回りましたが、営業利益、経常利益につきましては、百貨店事業において、国内需要・インバウンド需要がともに堅調に推移したことに加えて、前年同期に相次いだ自然災害が今年は少なかったことや、9月の消費税増税前の駆け込み需要が寄与し、増収増益となったことなどから、ほぼ前回発表予想通りとなりました。

一方、特別損失として、イズミヤの閉店店舗不動産の売却による損失863百万円、不採算事業の撤退に伴う事業整理損764百万円等を前倒し計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,463百万円(前年同期比1,050.0%)と前回発表予想を下回りました。

詳細につきましては、本日適時開示の当社決算短信をご覧ください。

3. 2020年3月期通期業績予想の修正  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	947,300	18,400	18,500	7,700	62.30
今回修正予想 (B)	939,200	18,000	18,200	7,000	56.63
増減額 (B - A)	△8,100	△400	△300	△700	—
増減率 (%)	△0.9	△2.2	△1.6	△9.1	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	926,872	20,422	21,376	2,162	17.50

4. 修正の理由

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の結果及び足元の業績動向を踏まえて、2019年5月14日に公表しました通期連結業績予想から、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ変更しております。

百貨店事業においては、年度末の阪急本店の大型改装や、神戸阪急および高槻阪急の立ち上げなど先行投資に伴う費用の増加に加えて、消費増税前の駆け込み需要に対する反動減の影響もあり、第3・4四半期においては減益を見込んでおります。

以 上